

[ 横浜能楽堂 ]  
 平成 30 年度業務計画書及び収支予算  
 [ 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業。○：共催事業  
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標。■：定性的指標  
 を示します。

I 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上2階地下2階建
敷地・延床面積	建築面積 1,770.81㎡ 延床面積 5,695.93㎡
開館日	平成8年6月28日

II 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで

III 指定管理に係る業務方針

1 基本方針

【横浜能楽堂が目指す姿】  
 開館以来育んできた『敷居の低い能楽堂』の理念を継承し、市民が文化・芸術に触れ、豊かな創造性を育むことのできる文化芸術活動の基盤整備を推進します。  
 指定管理第3期の2年目にあたり、質の高い事業を実施し、古典芸能の専門施設としてのブランドを確立し、また「東京2020オリンピック・パラリンピック」および文化プログラムを見据えた取り組みを推進します。これら文化事業に携わる専門人材の育成を行い、長期的な事業の質を担保します。

第2期指定管理期間に課題である施設の利用率の向上に向け、施設広報・営業の強化を進めます。また、安心・安全・快適な場として施設を提供するために、経年劣化の進む設備の長寿命化に向けて取り組みます。これらの課題の実現と解決のために限られた経営資源を適切に配分するとともに、外部資金を積極的に活用し経営の安定化をはかります。

【横浜能楽堂が果たす役割】

古典芸能の専門施設として「文化芸術による魅力・活力の創出」の一翼を担い、「古典芸能の総合的な発信基地」としての役割を果たします。

質の高い普及公演・講座・ワークショップの開催や、専門施設ならではの高い芸術性・学術性を基盤とした企画公演や発信性の高い国際交流事業の実施を通じて、能楽に関心のない層にも訴えかけて楽振興につなげるほか、次代を担う子どもたちを対象とする事業を強化していくことにより古典芸能愛好者の裾野を広げます。

貸館担当を置いてユニークベニューへの取組み、インバウンド対応、近隣区域への広報展開を進め、横浜市の都市イメージ向上や観光施策、まちの魅力形成に寄与します。

文化財として価値のある能舞台を守り、事業や貸館、インバウンド等に有効に活用するためにも、施設の保守管理や修繕について迅速かつ適切に実施します。

## 2 平成30年度の業務の方針及び達成目標

【全体業務について】

財団として策定した「横浜市芸術文化振興財団 中期経営計画 2015-2017」の4つの重点取組に沿って、第3期指定管理提案内容の達成に向けより取組みを充実させます。

### 1 施設管理について

開館22年目となり、建物・設備ともに経年劣化への対応と問題箇所の早期発見、状況の正しい把握がますます重要になります。日々の点検を強化することで問題箇所の早期発見に努め、来館者へ「安全、安心、快適」な環境を提供できるよう維持管理に注力します。

### 2 施設運営について

歴史ある能舞台の伝統と格式を守りながら、第3期より新しい組織体制のもと、貸館の利用促進に引き続き取り組みます。本舞台は横浜市文化財という価値あるものであり、能楽堂自体の魅力により多くの方に知っていただけるよう周知を行い、また様々な楽しみ方を提案します。

### 3 文化事業について

能・狂言を中心とした発信性の高い企画公演・特別公演、鑑賞者の裾野を広げる普及公演・講座、古典芸能を軸とする国際交事業について、引き続き積極的に実施します。

特に次世代育成プログラムの充実、学校の先生を対象とした講座を継続して取り組みます。

### 4 収支計画及び指定管理料について

事業収入については目標とする券売率を達成し、また芸術文化振興基金助成金等の継続的な獲得を目指します。利用料金収入については貸館利用の促進による増加をはかります。

IV 業務の取組と達成指標

1 施設管理

(1) 施設及び設備の維持保全及び管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全に努めます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①文化財（能舞台）の適切な保護</p> <p>②中長期的な視点による総合的な施設（建築物）、建築設備、舞台設備、備品等の保守管理の遂行</p> <p>③清掃、廃棄物処理及び環境への配慮等、植栽管理業務等の環境維持管理業務の実施</p> <p>④駐車場管理業務の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日々の手入れと点検を実施し、必要に応じて専門業者による管理・メンテナンスを行います。</p> <p>■職員および施設管理委託者による毎日の巡回と目視点検により不具合の早期発見に努めます。</p> <p>■施設利用後の速やかな点検の実施</p> <p>■台風・大雨後の巡回点検強化</p> <p>■建物設備管理に起因する過失事故0件</p> <p>□アンケート 快適評価4.0</p> <p>■環境維持管理に起因する過失事故0件</p> <p>□駐車場の保守点検年2回以上</p> <p>■駐車場および車両に起因する過失事故0件</p> <p>□備品（収蔵庫）管理 害虫駆除年2回以上</p> <p>□植栽管理 年2回以上</p>

(2) 小破修繕への取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日常点検を行い問題箇所迅速に対応します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①日常の管理・毎月の点検における不具合・不調箇所を発見し、早期の小破修繕等の対応</p> <p>②利用者の安全に関わる事案への最優先対応</p> <p>③不具合箇所等の市への報告による情報共有の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日常の巡回点検、毎月実施する定期点検の中で不具合・不調箇所の早期に発見に努め、部品交換や小破修繕を行います。</p> <p>■故障、不具合については速やかに横浜市と共有します。</p> <p>■問題箇所については施設管理チームから助言をもらい対応します。</p> <p>■修繕を検討すべき不調箇所はモニタリングを通じて横浜市と情報共有と対応・相談を行います</p> <p>■利用者の安全に関わる事案については、直ちに横浜市に報告し対応を協議します。</p>

(3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①各種事故等対応マニュアルの運用、整備</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各種マニュアルを整備し備え置きします。</p> <p>■職員、補助職員、委託業者（清掃員）による施設内巡回等</p>

②事故防止策、緊急時（防犯） 対応 ③感染症対策等衛生管理の方針 の策定 ④緊急時の連絡体制、防災に対 する取組	による速やかな対応を行います。 ■緊急連絡網を作成し連絡体制を構築します。
---	--

(4) 防災に対する取組

[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します	
[取組内容] ①各危機管理マニュアルの整備 及びそれに基づく訓練の実施 ②消防訓練（年2回実施） ③指定管理者本部からの情報提 供 ④外国人来場者への案内 ⑤延命講習の受講 ⑥汚物処理研修 ⑦救急時の医療機関への搬送	[達成指標] □消防訓練（避難誘導訓練を含む） 年2回実施 □消防設備の取扱研修 年2回実施 ■外国人来館者・障がい者の避難誘導を、消防訓練で実施し ます。 ■消防訓練をより実際に則した状況で実施します。 □普通救命講習1を全職員が受講済とします。 □ノロウイルス対応等研修 年1回以上 ■救急時は救急医療機関を紹介、搬送の手配をします。また、 事務室及びチケットブースで近隣の診療所や救急相談セン ターの情報等を共有します。

2 施設運営

(1) 能楽等の公演、稽古、創作その他の活動のための施設の提供

[目指す成果] 第3期指定管理提案における施設利用率及び利用料金収入の達成に取り組みます	
[取組内容] ①適切な施設の提供、運用  ②貸館の利用率が高まる工夫に よる施設の利用促進	[達成指標] □開館時間：午前9時～午後10時 受付・チケット販売：午前9時～午後8時 貸館受付：午前9時～午後10時 ■利用料金の設定：現行の利用料金体系を継続 教育機関の貸館利用については半額減免制度を設けます。 ■受付方法：横浜市能楽堂条例施行規則に則り、能狂言とそ れ以外の古典芸能で受付開始日を変えて受付します。 ■支払方法：現金、振込、郵便局払込で収受します。  ■古典芸能鑑賞会、施設見学会等について学校や旅行代理店 にプランを提案します。 □平成30年度 アプローチ件数15件、商談件数3件

<p>③新規の利用者を増やすための工夫</p>	<p>■利用案内のDMを送付し貸館の周知を行います。</p> <p>□平成30年度 利用案内DM送付 過去施設利用者50件、近隣住民2回/年 横浜能楽堂顧客名簿に基づく個人 3,000件 大学能楽サークル10件</p> <p>■初めて割(25歳以下の利用者)と応援割(ワークショップ修了者)の仕組みを整え、広報を始めます。</p>
<p>④指定期間における利用料金収入、利用率の考え方、利用率の達成</p>	<p>□平成30年度 利用料金収入 16,200千円</p> <p>□平成30年度 施設目標利用率 本舞台(日)42% (平成32年度 50%) 第二舞台 62% 研修室1・2 32%、研修室3・4 48% ※研修室は新たな算定区分にて計算します。</p>
<p>⑤貸館、舞台の適切な運営体制の整備</p>	<p>□開館時の運営体制：1階 補助職員3名以上、事務室 職員2名以上</p> <p>□本舞台利用時の運営体制：舞台技術者による対応</p> <p>□本舞台における公演・発表会の開催時の運営体制：補助職員2名～4名を増員</p> <p>■事務室の職員全員が貸館に対応できるよう、マニュアルを備え置きます。</p> <p>■貸館の手引きを備え置きし、利用者に施設利用に関する情報をわかりやすく伝えます。</p> <p>■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』(公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援)を実施します。</p> <p>■能楽以外のご利用に際し、能舞台に固有の利用についてのサポート、当日支援を貸館チーム中心に行います。</p> <p>■毎月発行の催し物案内広報物「橋がかり」へ本舞台・第二舞台の公演・発表会等の情報を掲載し、貸館催事の広報に協力します。</p>
<p>⑥要望・苦情への対応、職員における共有</p>	<p>■公演ごとに実施するアンケートを分析し、お客様の要望・苦情を把握し対応します。</p> <p>■アンケート回収率の向上のための工夫を行います。</p> <p>□アンケート回収率 目標 14.5%</p> <p>■必要に応じ財団事務局、横浜市と情報共有します。</p> <p>■クレームについてレポートを作成し職員間で共有します。</p>

(2) 利用促進及びサービスの向上

<b>[目指す成果]</b> 新たなプロモーションへの取り組みを継続し、お客様の満足度を高めます。	
<b>[取組内容]</b> ①各貸出施設の利用促進に対する取組み及びプロモーション	<b>[達成指標]</b> ■各室について稽古利用ができることを SNS やちらしで周知します。 □利用案内 DM 送付 (再掲) 平成 30 年度 過去施設利用者 50 件、近隣住民 2 回/年 横浜能楽堂顧客名簿に基づく個人 3,000 件 大学能楽サークル 10 件 ■ツイッターや WEB ページを活用し貸館情報、利用紹介や案内を告知します。 ■フェイスブックの特性を活かし画像や映像といっしょに事業の紹介を行います。 ■WEB サイトのアクセシビリティ化・スマートフォンでのアクセスに対してレスポンス化を実現し、だれでもが快適にアクセスできる環境を整え、持続させます。 ■サイトデザインについて、アクセシビリティを考慮したデザインにします。 ■本舞台の 1 時間単位での貸出の PR ■WEB ページでの施設空き状況の情報提供の検討 ■撮影利用、アフターコンベンション等の利用希望への積極的な対応 ■公演利用者への付加サービスの提供の具体内容検討 ■初めて割 (25 歳以下の利用者)、応援割 (ワークショップ修了者) の検討、実施 (再掲) ■2 階レストランスペースでの打ち上げ、昼食利用等の提案
②お客様からの意見箱の設置及び対応によるサービスの向上	□意見箱の設置 ロビー 1 カ所、楽屋 1 カ所
③物販サービスの実施	■本舞台利用時にショップの営業を行います。 ■新しいオリジナル商品のお菓子開発を検討します。 ■オリジナル生落雁「鏡板」について、季節や催しものに応じた販売強化を行います。 □鏡板 特別バージョン販売 年 2 回以上 ■新てぬぐい「舞」と関連グッズの販売を強化します ■物販・チケット代金の支払にクレジットカード・電子マネーを検討し、導入します。

④来館者及び外国人観光客に向けたWi-Fi用アクセスポイントの設置	<b>■フリーWiFiの提供を行います。</b> <input type="checkbox"/> ロビー・展示廊エリア 1台 常時提供 <input type="checkbox"/> 見所エリア2台 必要時に提供
-----------------------------------	--

(3) 組織的な施設運営の取組、職員の確保・職能、配置及び育成

<p>[目指す成果]          専門館ならではの事業の実施、施設の堅実な運営に向けて人材を配置・育成します</p>																			
<p>[取組内容]          ①明確な責任体制の構築、勤務シフトの設定          ②適切な休館日の設定          ③専門性人材の安定的確保と能力向上に対する方策の実施          ④求める役割を果たす責任者・職員の配置          ⑤各研修の実施</p>	<p>[達成指標]  <b>■管理運営チームリーダーが貸館と施設広報を担い、利用率達成を目指します。</b>  <b>■プロデューサーとなる企画制作担当職員は、先輩後輩のペア制をとることでOJTを行います。</b></p> <table border="1" data-bbox="646 667 1425 1205"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> <td>エグゼクティブ・プロデューサー</td> </tr> <tr> <td>経営グループ長</td> <td>1</td> <td>管理運営1</td> </tr> <tr> <td>管理運営チームリーダー</td> <td>1</td> <td>管理運営1 ※貸館営業担当</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>7</td> <td>企画制作4、庶務経理1、施設管理1、広報営業1</td> </tr> <tr> <td>補助職員</td> <td>17</td> <td>事務室補助職員1、1F受付スタッフ16</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/>開館日数：339日  <input type="checkbox"/>施設点検のための休館日：年間26日</p> <p><b>■勤務体制</b>  <b>【基本】館長を除きローテーションでの勤務体制</b>          主催事業や貸館内容に応じて勤務体制を調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館長 9:30～18:15</li> <li>・経営グループ長以下の職員 A勤務 8:45～17:30、 B勤務 13:15～22:00</li> <li>・補助職員（B1F事務所） A勤務 8:45～17:15、 B勤務 13:30～22:00</li> <li>・補助職員（1F受付） A勤務 8:55～14:40、 B勤務 14:30～20:15</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>バリアフリー研修 1回</p> <p><b>■公文協・劇音協ほか外部セミナーの受講を推奨し、専門知識の習得に努めます。</b></p> <p><b>■財団主催研修・横浜市研修へ職員を参加させ資質向上および</b></p>	項目	人数	備考	館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー	経営グループ長	1	管理運営1	管理運営チームリーダー	1	管理運営1 ※貸館営業担当	職員	7	企画制作4、庶務経理1、施設管理1、広報営業1	補助職員	17	事務室補助職員1、1F受付スタッフ16
項目	人数	備考																	
館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー																	
経営グループ長	1	管理運営1																	
管理運営チームリーダー	1	管理運営1 ※貸館営業担当																	
職員	7	企画制作4、庶務経理1、施設管理1、広報営業1																	
補助職員	17	事務室補助職員1、1F受付スタッフ16																	

	<p>スキルアップをはかります。</p> <p>■他施設で行われる公演視察により職員の企画・運営力向上をはかります。</p> <p>□調査研究のための出張 国内1カ所、海外1カ所</p>
--	---

(4) 本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[目指す成果]</p> <p>横浜市の重要施策を踏まえて、真摯に取り組みます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①個人情報保護</p> <p>②コンプライアンスの遵守</p> <p>③適正な情報公開</p> <p>④人権尊重</p> <p>⑤環境への配慮</p> <p>⑥市内中小企業優先発注</p> <p>⑦男女共同参画の推進</p> <p>⑧その他</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルに則り適切に対応します。</p> <p>□個人情報取扱研修 年1回</p> <p>■コンプライアンス委員会での情報共有を行います。</p> <p>■印刷物を中心にダブルチェックの徹底</p> <p>□全職員対象コンプライアンス研修 年1回</p> <p>□横浜市主催人権研修に職員を参加させます。</p> <p>■省エネルギー・節電・ごみ減量に取り組めます。</p> <p>□中小企業への優先発注 全発注の9割以上</p> <p>■労働時間を適切にコントロールし、超勤の抑制に努めます</p>

3 文化事業

(1) 能楽等の継承・振興・発展に向けた次世代育成、愛好者の拡大

<p>[目指す成果]</p> <p>敷居が高いと思われがちな能楽等古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①能楽等の古典芸能の継承、振興や発展に向けた公演、講座・ワークショップの実施</p> <p>②「クリエイティブ・インクルージョン」の趣旨を踏まえた、人種・国籍・宗教・障害の有無・性別・性的指向・年齢等に関係なくすべての人が参加できるとともに、ユニバーサル対応に向けた様々なサポート体制を整えた公演及び体験講座等の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□普及公演「横浜狂言堂」全12回 毎月第二日曜日開催、解説付きで2000円の料金設定により初心者だけでなく、鑑賞回数を増やしたい層にも魅力ある公演です。 券売率90% 入場者数437人/回(12回 5,244人)</p> <p>□3/17 普及公演「バリアフリー能」1回 「すべての人に能楽を」というコンセプトで、障がいのある方へのさまざまなサポートを用意し実施します。 視覚障がい者・聴覚障がい者向け事前見学会 各1回 公演終了後の意見交換会 1回 券売率50% 入場者数244人・介助者1名無料</p>



<p>③「クリエイティブ・チルドレン」      の考え方に基づく、次代を担う子どもたち、その保護者、教育関係者等を対象とした施設内での能楽等の学習・体験機会、古典芸能に触れるきっかけの提供</p>	<p>□8/11 講座「山本東次郎の狂言の時間」1回      夏休みに親子で狂言に親しむ公演。教科書掲載の狂言「柿山伏」を中心に、人間国宝により狂言の面白さを伝えます。こども料金を抑え、家族で来場しやすい価格設定とします。      券売率 80% 入場者数 388 人      こども料金 500 円</p> <p>□8/11 特別講座「先生のための狂言講座」1回      講座「山本東次郎の狂言の時間」終了後、狂言師を講師に、国語科における狂言単元の活かし方について教師向け特別講座を開催します。      参加者数 50 人以上</p>
<p>④子どもたちの感性、創造性を育み、意欲を発展させることのできるプログラムや継続性のある事業の実施</p>	<p>□8月7,8,9日こども狂言ワークショップ 入門編 3日間      山本東次郎家を講師に迎えて夏休みに小・中学生の子ども対象のワークショップを開催します。      参加者数 20 人以上</p> <p>□1-3月こども狂言ワークショップ 卒業編 10回      入門編の参加者のうち舞台での発表を目標としたワークショップを開催します。      参加者数 5 人</p> <p>□3/31 横浜こども狂言会 1回      こども狂言ワークショップでの稽古の成果を、OB・OG組織である「いろはの会」メンバーと一緒に本舞台で披露します。      こども狂言ワークショップ卒業編からの参加者 5 人、いろはの会の参加者含め 15 人 入場者数 100 人</p>
<p>⑤市内の子どもたちに対して文化芸術に触れる機会を提供するため、「横浜市芸術教育プラットフォーム」にコーディネーターとして参画し学校プログラムを実施</p>	<p>□「横浜市芸術教育プラットフォーム」学校プログラム      狂言・古典芸能を軸にコーディネートを行います。      5校実施</p>
<p>⑥能楽等の次世代の育成に向けて、若手の演じ手や公演等の作り手の積極的な登用。</p>	<p>■通常の公演企画を通じて実力ある若手の演じ手を起用していきます。</p>

<p>⑦古典芸能の魅力伝え、興味や関心に応じて体験することのできるワークショップや講座等の開催</p>	<p>□4-7月講座「初めての能楽教室」 お稽古の機会が得にくい能楽教室を、主に大人の初心者を対象に開催します。平成30年度より開催時期を11月から季節の良い4月開始に変更することで、夜のお稽古に参加しやすくします。 謡・仕舞12人、小鼓12人、大鼓12人 合計36人</p>
<p>⑧愛好者の定着に向けた古典芸能に触れる際や活動にあたってのサポート・相談体制を整え、継続的に技術を研鑽できる機会の提供</p>	<p>■横浜能楽堂主催ワークショップの修了者が継続的な稽古を支援するため、施設利用料の減免制度「応援割」の仕組みを整え、広報を始めます。</p>

(2) 能、狂言その他の古典芸能の振興・発展

<p>[目指す成果] 全国の能楽ファンを魅了するような企画性・創造性に富んだ質の高い公演を行います。 発信力のある古典芸能分野での国際交流事業を実施します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①本舞台・第二舞台を活用した公演等の開催</p> <p>②能・狂言等の継承性と創造性のバランスに配慮しつつ、横浜能楽堂独自の創造的な公演や古典芸能の多彩な公演の実施</p> <p>③能楽等の鑑賞者を広げ、愛好者の定着を図るため、能及び狂言等の基本知識や曲の見どころ・背景などを分かりやすく伝える等の創意工夫を凝らした公演の定期開催</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを、第二舞台を会場に開催します。 ワークショップ1講座 2回以上、申込率80%、参加人数12人/回</p> <p>□6/9、6/19 横浜能楽堂特別企画公演「花開く伝統 一日台の名作と新作」2回 日本舞踊と台湾の伝統芸能「崑劇」が能舞台上でコラボレーション。日台の古典芸能に加えて29年度に日本および台湾で行ったワークショップ・レジデンスにより制作された新作上演を行います。 また当能楽堂の企画制作作品として豊田市能楽堂およびりゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館能楽堂での巡回公演を各1回行います。 券売率65% 入場者数315人/回 (2回630人)</p> <p>□12/16 普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」1回 能楽初心者が退屈せずに楽しめる曲を選び、解説付きで開催します。 券売率80%/入場者数388人</p>

<p>④文化専門施設として蓄積した高度かつ専門的なノウハウを発揮し、横浜や横浜能楽堂ならではの発信性ある魅力的な公演・事業等の実施</p>	<p>□10/未定 企画公演「風雅と無常 修羅能の世界」(全5回) 能の二番目物「修羅能」に焦点を当てた企画。5回シリーズで修羅能の名曲を、講演や能にちなんだ雅楽の演奏を交えて実施する大型企画です。日本画家・山口晃氏作品による「修羅」をテーマにした特別展示を行います。 券売率 80% 入場者数 388 人/回 (全 5 回 1,940 人)</p> <p>□2/9 企画公演 横浜能楽堂・伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」第5回 1回 能と組踊の類曲を上演し、それぞれの芸術を比べることができる公演です。5年連続公演の最終回となる今回は大曲の能「道成寺」と組踊「執心鐘入」を上演します。 券売率 80% 入場者数 388 人</p>
---	---

(3) 能楽堂自体の魅力の発信

<p>[目指す成果] 和の文化施設として今までにない能楽堂の魅力を発信し認知度の向上をはかります</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①貸館営業、広報営業担当の人員配置</p> <p>②能舞台の文化的価値や日本の伝統文化の発信、おもてなしの拠点となる文化プログラムやユニークベニュー等の企画、多言語対応を含む受入を行うことによる、横浜や横浜能楽堂の魅力や認知度の向上</p> <p>③観光・宿泊プラン、国際会議等、MICE と連携し、アフターコンベンション等への施設提供</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□MICE 関連展示会視察 1 回以上</p> <p>□提案可能な日本文化体験プログラムの作成 1 本</p> <p>□提案可能な公演鑑賞パッケージの作成 1 本</p> <p>□公演または文化体験プログラムのリリース 1 本以上</p> <p>□大規模合コン「街コン」又は「大人コン」開催 1 回以上</p> <p>□近隣ホテルとのお食事付チケットプラン 1 公演</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを、第二舞台を会場に開催します。 ワークショップ1 講座 2 回以上、申込率 80%、参加人数 12 人/回 (再掲)</p> <p>■英語接客が可能なスタッフが「ENGLISH OK!」バッチ着用</p> <p>■その他言語の対応可能なスタッフが「◎◎ OK!」バッチ着用</p> <p>■能・狂言の英文解説をすべての演目で用意します</p> <p>■館内サインのピクトグラム化の検討</p> <p>■インターネットチケットサイトの英語版を提供</p> <p>■(公財) 横浜観光コンベンションビューローとの情報共有によるプロモーションの推進 (人員配置については、2 (3) のとおり)</p>

(4) 能楽等に関する地域等との連携事業

<p>[目指す成果]</p> <p>地域との連携を密にし、能楽堂の地域文化資源としての魅力をPRします。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①国際文化交流拠点としての役割期待を踏まえた地域、地元企業等との連携、能楽等の振興に資する活動の実施</p> <p>②能楽師を中心とした演者、能楽等の団体・他の能楽堂や能楽等を支える伝統工芸に関わる作家や企業、愛好者の団体等との幅広いネットワークの形成</p> <p>③学生等をはじめとした職場訪問・職業体験やインターンシップ等の受入、専門知識を習得している段階の学生や市民ボランティア等、地域と連携し、愛好者や人材の育成支援</p> <p>④近隣小学校への能、狂言の学習サポート</p> <p>⑤地域住民への公演告知等による能楽堂や古典芸能に触れる機会の提供</p> <p>⑥施設見学会の開催</p> <p>⑦地域の古典芸能振興として、実演家・地域企業・関連団体と連携・ハブを担う、能の公演の開催</p> <p>⑧近隣団体との協働事業への参加、近隣施設との協力</p> <p>⑨横浜市内在住外国人への広報</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□6/2 第66回横浜能 1回 横浜ゆかりの能楽師による能「砦」 横浜能楽連盟との共催。 券売率 85% 入場者数 412人</p> <p>□中・高校生の職場体験受入 2校 □小・中・高校の見学・学習サポート 3校 □小・中学校校長会での見学会の案内 1回</p> <p>■児童・生徒向け見学パンフレットの用意 ■11/24「第35回横浜かもんやま能」1回 ふるさと西区推進委員会、西区役所との共催 事業運営・広報協力を行います</p> <p>□施設見学会 月1回開催 年間12回以上実施 うち1回を8/26 西区虫の音を聴く会との同時開催として、地域のにぎわいに貢献します。 参加者数各回15人以上</p> <p>□近隣住民へのちらし配布 2回/年(利用案内含む) ■WEBページ、ツイッターの多言語化を実現します</p> <p>□みなとみらい21「さくらフェスタ2018」への参加 □「野毛まちなかキャンパス」実行委員会との協働 □みなとみらい21「かもめスクール」との協働 □西区町歩き企画への協賛・共催 1回以上</p> <p>■紅葉ヶ丘エリアの5館連携について、館長会に参加し協働を検討します。</p> <p>□英文タブレットガイド準備公演 1公演以上 □英文の施設紹介ちらしを再作成します。1種類</p>

(5) 情報提供及び渉外、広報・プロモーション活動

<p>[目指す成果]</p> <p>情報発信、提供を積極的に行い、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>①施設の紹介</p> <p>②公演、事業の紹介</p> <p>③横浜能楽堂友の会「かもん会」の運営</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□WEB ページアクセス数 トップページ：10,000/月 ページビュー：49,000/月</p> <p>□ツイッターフォロワー数：2,350人</p>

④業務計画書等の公開	<input type="checkbox"/> 年間スケジュール：10,000部
⑤マスコミ等を中心とした幅広いプロモーションの実施	<input type="checkbox"/> 3か月の行事予定「橋がかり」：毎月10,000部
⑥能楽関連の情報、資料の開示	<input type="checkbox"/> 横浜能楽堂友の会「かもん会」会員数：目標 800人
⑦公演・講座記録として開館以来の公演等の記録を整理し、「横浜能楽堂アーカイブ」構築の検討	<input type="checkbox"/> 広報資料送付： 新聞・雑誌・テレビ等のマスコミ約100社 <input type="checkbox"/> 新聞、雑誌の掲載：年間24本 <input type="checkbox"/> ニコニコ動画に代わるインターネットによる広報手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 1F書架の閲覧についてWEBで周知します。 <input checked="" type="checkbox"/> 電話やメールでの問い合わせに対して迅速に回答します。 （日本語、英語） <input checked="" type="checkbox"/> 「横浜能楽堂アーカイブ」の検討を行います。

(6) 館内展示及び収蔵品の管理の実施

[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に実施します。	
[取組内容] ①常設展の開催 ②特別展の開催 ③収蔵品の管理 ④展示の和文・英文表記の充実	[達成指標] <input type="checkbox"/> 常設展開催 年2回以上 観覧者数4,500人 <input type="checkbox"/> 特別展「苦悩と風雅 山口晃が描く修羅能の世界」(仮称) 開催 1回 観覧者数5,000人 <input checked="" type="checkbox"/> 常設展・特別展の英文表記の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 収蔵品を適切に管理します。

(7) その他文化事業に関する取組

[目指す成果]	
[取組内容] ①外部専門家（能楽関係者、研究者、文化団体、大学等）との協力体制・連携	[達成指標] <input type="checkbox"/> 一般社団法人 伝統組踊保存会との提携公演実施 1回 (3の(2)に記載) <input type="checkbox"/> 豊田市能楽堂、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館能楽堂主催公演の企画制作 (3の(2)に記載)

4 収支計画及び指定管理料

(1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え方

[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に運用します	
[取組内容] ①適切な料金設定	[達成指標] <input checked="" type="checkbox"/> 学校鑑賞会利用における半額減免の導入

②利用状況に合わせた支払方法 ③条例及び施行規則に基づく減免等の運用	<input checked="" type="checkbox"/> 児童、生徒、学生の見学会の全額減免 <input type="checkbox"/> 減免についてのマニュアルの作成 (料金設定・支払方法等は、2(1)のとおり)
---------------------------------------	---

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

[目指す成果]	
[取組内容] ①自主事業収入・利用料金収入の安定的な確保 ②助成金、寄付金の確実な獲得 ③協賛金収入の獲得 ④利用料金収入の安定的な確保 ⑤貸館における友の会会報へのちらし封入サービス、主催公演パンフレットへのちらしはさみこみサービス等の提供 ⑥貸館公演におけるチケット作成代行、販売代行サービス等の提供 ⑦撮影料金の設定 ⑧オリジナル商品の開発及び販売 ⑨事業収支の健全性の基準設定及びそれに基づく適切な計画	[達成指標] <input type="checkbox"/> 利用料金収入 16,200 千円 <input type="checkbox"/> 日本芸術文化振興会等の外部資金獲得 16,185 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館の手引きにより、ちらし封入サービス、チケット作成、販売代行の有料サービスの提供の周知を図ります。 <input checked="" type="checkbox"/> 撮影料金を設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> オリジナルショップ商品開発を検討します。 <input checked="" type="checkbox"/> 限られた経営資源を適切に配分するとともに外部資金を積極的に導入することで経営を安定化し、施設で収支バランスをとれる状態とします。

(3) 経費削減等効率的運営の努力

[目指す成果] 業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減を目指します	
[取組内容] ①発注・事務処理、施設・設備管理等の留意による経費削減等効率的運営の努力 ②適切な人材配置及び超過勤務の削減及び職員のワークライフバランスを図ること等による人件費削減の努力	[達成指標] <input checked="" type="checkbox"/> ちらし作成枚数の精査、不要不急の支出の抑制を行います。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化に努め、超勤時間のコントロールを行います。

## 5 PDCAサイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 日報及び月間業務報告書の作成・管理</li><li>・ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理</li><li>・ 業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）</li></ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 遺漏ない作成を行います。</li><li>■ 遅滞なく業務評価を実施します。</li></ul>
--	--

## 6 留意事項

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 保険及び損害賠償の取扱い</li><li>・ 関係法令等の遵守</li><li>・ 市及び関係機関等との連絡調整</li><li>・ 近隣対策の実施</li><li>・ その他</li></ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 関係法令等を遵守します。</li><li>■ 業務の基準に従って適切に行います。</li></ul>
--	--

横浜能楽堂 平成30年度事業一覧

No.	開始日	終了日	実施時期	主催・共催・協賛等	事業名	会場	事業内容	予定参加者・入場者(人)	実施回數
1	通年		通年	主催	普及公演「横浜狂言堂」全12回	横浜能楽堂 本舞台	能楽を広く普及するため、これまで能楽堂に来たことのない方も含めて、多くの方に横浜能楽堂に気軽に足を運んでもらうことを目的とした狂言会。	5,244	12
2	10月		10月	主催	普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」	横浜能楽堂 本舞台	能楽初心者にも眠くならず楽しめる曲を能・狂言から1曲ずつ選び、解説付きで開催。	388	1
3	3月	3月	3月	主催	普及公演「ハリアフリー能」	横浜能楽堂 本舞台	より幅広い層に能・狂言に親しんで頂くため、解説付きの普及公演を実施する。障がいがある方にも、気軽に能楽を楽しんで頂けるよう「ハリアフリー能」と銘打ち、介助者一名無料、点字チラシ、副音声、手話通訳、バロン通訳などのサポート態勢を整える。また、講演後に意見交換会を行い、障がいのある方からの生の意見を伺う。	244	1
4	8月	8月	8月	主催	講座「人間国宝・山本東次郎先生の狂言の時間」	横浜能楽堂 本舞台	子どもたちが日本の伝統文化に触れる機会が少ない中、生の舞台を見ることで、昔の人々の「生活」や「笑い」に対するエネルギーを体感することができる。人間国宝山本東次郎が出演。解説では、日本人の精神性や文化等にも触れられ、伝統文化について考え、興味をもつ機会となる。	388	1
5	8月	8月	8月	主催	特別講座「先生のための狂言講座」	横浜能楽堂 本舞台	教員および教職課程の学生対象の講座。教科書に掲載されている狂言「栲山伏」を鑑賞後、山本東次郎師より解説。授業でどのように子供たちに教えるか等の解説を質疑応答を交え行う。教材の活用促進を図る。なお、教科書掲載の能舞台は横浜能楽堂のものである。	30	1
6	8月	8月	8月	主催	子ども狂言ワークショップ 入門編	横浜能楽堂 第二舞台	夏休みの期間中の小・中学生を対象としたワークショップ。能楽をより身近に感じてもらえるよう、狂言の基礎から学ぶ実践と能楽の公演鑑賞を併せて実施。一流の狂言師を講師に招き、「入門編」ながらも本格的な狂言の稽古を体験する事により、能楽への興味を促す。定員25名。	20	3
7	1月	3月	1月~3月	主催	子ども狂言ワークショップ 卒業編	横浜能楽堂 第二舞台	夏休み期間中に開かれる「子ども狂言ワークショップ-入門編」参加者を対象に「卒業編」を実施。	5	10
8	3月	3月	3月	主催	横浜子ども狂言会	横浜能楽堂 本舞台	子ども狂言ワークショップ-卒業編-の修了生とそのOG・OB組織である「はるはるの会」のメンバーが、本舞台で、本物の装束を付け、狂言を上演する。	100	1
9	4月	7月	4月~7月	主催	初めての能楽教室	横浜能楽堂 楽屋・本舞台・第二舞台	初心者が能楽の謡・仕舞や囃子の実技を学べる機会を提供し、能楽の普及に寄与する。継続して稽古を続けることを通じて、個人の技術の向上だけでなく、公演に足を運び、能楽を伝える人材の育成も図る。今年度より開催時期を春に変更し、参加しやすい設定とする。	36	30
10	未定	未定	未定	共催	横浜芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内学校	子どもたちの創造性をばぐみ豊かな情操を養うことを目的に、狂言「栲山伏」を中心とした鑑賞とワークショップのコーディネート。児童・先生方の伝統芸術への親しみと理解を助け本物に触れる機会を提供する。	300	5
11	未定	未定	未定	主催	企画公演「風雅と無常-修善能の世界」第1回~第5回	横浜能楽堂 本舞台	能には、「修善能」と呼ばれる曲がある。源平の武徳らを主人公として、会釈の有様を描きながら、仏教思想を背景として人間の苦しみや悲しみを描き出す。武徳たちの風雅な一面を感じさせる曲も多く、それにより悲劇性が一段と際立つ。企画公演「風雅と無常-修善能の世界」として、「修善能」の名曲を5回シリーズで上演する。	1,840	5
12	6月	8月	8月~9月	主催	特別企画公演「花開く伝統-日台の名作と新作」全2回	横浜能楽堂 本舞台	横浜能楽堂と台湾・觀光劇団との国際共同制作による公演。台湾の真劇と日本舞踊を上演したのち、日台の古典芸能のコラボレーションによる新作を上演。日本初演の後、台湾でも公演を予定。	628	2
13	2月	2月	2月	共催	横浜能楽堂・伝統劇場保存会提携公演「能の五番 結實の五番」第5回	横浜能楽堂 本舞台	伝統劇場保存会と提携し、能とそれに関係のある能楽を上演する各界の人間国宝級が出演し、平成27年1月から年1回公演を5年間行う。本年は最終回にあたる。	388	1
14	6月	6月	6月	共催	第68回横浜能	横浜能楽堂 本舞台	昭和28年に第1回が開催されて以来、半世紀以上にわたり市内の能楽愛好者団体である横浜能楽連盟が中心になって開催してきた。第51回からは横浜能楽堂の企画・共同主催により開催し、本年で65回目を迎える。横浜能の充実・継続により、地元の能楽の活動を顕著させる。横浜ゆかりの項目や演者による公演とし、横浜の能楽振興、能楽人材の育成に資する。	388	1
15	11月	11月	11月	共催	第35回かもんやま能	横浜能楽堂 本舞台	平成30年度の開催で35回目を迎える能楽公演。西区ふるさと協議会と共同主催。	388	1
16	未定	未定	1月~3月	主催	特別展「若嶺と風雅 山口昇が描く修善能の世界」(仮称)	横浜能楽堂 2階展示廊ほか	企画公演「風雅と無常-修善能の世界」にあわせて現代美術家・山口昇によるインスタレーションや絵画などを展示。修善の世界観について、来場者の理解を深めるとともに、現代美術の愛好者へ能楽に対する興味を深めてもらう。	3,000	1
17	通年		通年	主催	常設展	横浜能楽堂 2階展示廊	常設展「初めての能・狂言」開催時に兼東3線を山口能楽家研究所より借展し展示。来館者に上質の装束を鑑賞する機会を提供し能狂言への興味向上をはかる。	4,500	3
18	未定	未定	未定	主催	能楽堂プロモーション事業	全館	MICE施設としてのPRや、貸館促進のためのプロモーションを行う。	0	10
19			通年	主催	動画配信事業	-	横浜狂言堂を始めとする事業および能楽堂のPRを、SNSを活用し特に若年層に向けて発信する。	1,500	5
20	通年		通年	主催	能楽堂友の会	-	友の会組織を維持し、自主事業の情報提供やチケットの先行販売などの会員特典を提供。	800	1



## 平成30年度 「横浜能楽堂」 収支予算書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	説明
指定管理料	173,000,000	横浜市より
利用料金収入	16,200,000	
自主事業収入	41,286,000	
雑入	43,472,000	
印刷代	0	
自動販売機手数料	188,000	
その他(コピー代、炭代)	20,000	
その他(開催協力金・助成金)	40,214,000	
その他(企業協賛金、寄付金)	3,050,000	
収入合計	273,958,000	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	説明
人件費	90,874,000	
給与・賃金	76,637,000	臨時職員17名の給与を含む
社会保険料	8,601,000	
通勤手当	2,984,000	
健康診断費	118,000	
勤労者福祉共済掛金	0	
退職給付引当金繰入額	2,534,000	
事務費	8,145,000	
旅費	840,000	
消耗品費	1,600,000	
会議賄い費	0	
印刷製本費	160,000	
通信費	2,400,000	
使用料及び賃借料	12,000	
横浜市への支払分	12,000	
その他	0	
備品購入費	0	
図書購入費	0	
施設賠償責任保険	100,000	
職員等研修費	0	
振込手数料	570,000	
リース料	1,148,000	
手数料	102,000	
地域協力費	0	
広告宣伝費	1,100,000	科目変更に伴う増
負担金(会費)	31,000	公文教加盟による年会費の増
雑支出	82,000	渉外費計上に伴う増
事業費	82,464,000	
自主事業費	82,464,000	
管理費	68,900,000	
光熱水費	13,600,000	
電気料金	8,440,000	
ガス料金	3,480,000	
水道料金	1,680,000	
清掃費		設備保全費を含む
修繕費	3,000,000	
機械警備費	0	設備保全費を含む
設備保全費	52,300,000	
空調衛生設備保守	0	その他保全費を含む
消防設備保守	0	その他保全費を含む
電気設備保守		その他保全費を含む
害虫駆除清掃保守		その他保全費を含む
駐車場設備保全費	260,000	機械式駐車場点検
その他保全費	52,040,000	建物総合保守、清掃警備委託、舞台操作委託費を含む
共益費		
公租公課	5,755,000	
事業所税	16,000	
消費税	5,697,000	
印紙税	42,000	
その他( )		
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	17,820,000	
本部分	17,820,000	(平成29年度予算額-事務局繰入金)×7%+役員報酬含む
当該施設分		
支出合計	273,958,000	
差引	0	